令和3年度 学校自己、及び、学校関係者評価表 武蔵村山市立第八小学校

経営理念 人間力を高め、夢と希望を育み、笑顔あふれる学校

【学校運営協議会・会長】 学校運営協議会（学校評価分） 第1回 月 日 ○
第2回 月 日 ○
第3回 月 日 ○

様式4

経営理念	経営目標 (中期・短期を明記)	目標達成のための方策	評価指標	自己評価				分析コメント(学校関係者評価委員会の意見、児童・生徒評価、保護者評価等の意見について、参考にする。)	改善策(来年度の目標設定、具体記取組目標)	学校関係者評価	
				7月		12月				意見	評価点 (4点満点)
				目標値	最終評価	達成値	達成度				
確かな学力の向上	《指導力の向上》 ◆(中期) 学習意欲、思考力・判断力・表現力の向上 ◆(中期) 知識・技能の確実な定着	◇授業改善推進プランに基づき、「学習意欲、思考力・判断力・表現力」の向上と「知識・技能」の定着を図る。 ◇東京ベーシック・ドリルの内容の、7割以上の定着を図る。	○(保護者アンケート)肯定的評価の割合 ○第5学年都調査と類似問題の結果の比較 ○ベーシック・ドリル診断テストの結果	80	67	B	・学習意欲については、保護者アンケートの肯定的評価の割合も多く、子供たちはやる気をもって取り組んでいる。一方で知識・技能が定着していない児童がいる。アンケートの「分かる授業」項目の結果も芳しくない。 ・思考力、判断力、表現力については、校内研究によって関連づける指導を心掛けている教員が多い。	・基礎・基本の定着を図れるよう、習熟タイムや東京ベーシック・ドリルの活用方法を工夫するとともに、家庭学習の啓発や宿題の充実も図る。 ・指導と評価の一体化を図りながら、問題解決型の授業を継続することや応用問題に取り組ませることを通じて、自分の考えをもつ機会を多くもたせていく。	達成率がかなり低いのとやる気を持って取り組んでいるが知識・技能が定着していないが気になります。定着がないと「やる気」も失ってしまうと思うので、この点についての取り組みを検討してはどうか。保護者や地域の方との関わりは非常に良いと思えます。今後も継続して続けていけるように地域の方々に協力体制の強化も必要ではないでしょうか。	3	
	《地域との連携》 ◆(中期) 保護者・教育支援ボランティア(地域)を活用した共同活動の推進	◇「繰り上がり」「繰り下がり」の徹底を図る。(基礎学力の定着) ◇「かけ算九九」(基礎学力の定着)…11月、3学期末 ◇「八小なるほど塾」(基礎学力の定着)…2学期に実施「詩の暗誦」(基礎学力の定着)	○「伸びゆく子」の評価	80	76	B	・夏の八小塾やなるほど塾などにおいて保護者や地域の方々と連携することができた。保護者アンケートでも、家庭やPTA、地域住民との連携における教育活動については、9割以上の肯定的意見を示している。 ・一方で、それらの取り組みを行っても基礎基本の定着が図れていない児童が少なくない。	・地域あつての学校であることを積極的に伝えていくとともに、地域の方との連絡を怠らず、さらなる関係強化に取り組む。 ・これまでの取り組みを振り返った上で、低学年でなるほど塾や3年生以上での基礎計算の取り組みなど、対象学年や取り組み方が適度であるのか吟味する。	先生以外の大人からの情報を得られれば、気が付いてやることも増えるかもしれない。	3	
豊かな心の育成	◆(中期) いじめ撲滅への取組	◇週1回の生活指導夕会に合わせて、学年内で、いじめ認知の確認と、報告・協議を行う。 ◇月1回開催する「特別支援校内委員会兼いじめ防止対策委員会」で、いじめ認知の確認と、報告・協議を行う。	○「ふれあい月間」の結果 ○(自己評価)肯定的評価の割合 ○(保護者アンケート)肯定的評価の割合	80	86	A	・週1回の生活指導夕会で、児童の様子について共有できている。今年度は、月に一度校内委員会からの報告もあり、より情報が共有できている。 ・保護者アンケートの「道徳性や規範意識」は肯定が8割近い。一方で、「心の教育の推進」への期待が2割以上あり、更なる豊かな心の育成が求められている。	・今後も生活指導夕会で児童の様子について共有できるとともに月に一度校内委員会からの報告を継続し、児童の様子などの情報共有を図る。 ・今やっている取り組みを大切にしつつ、徳育科や学級活動等を中心として、他者理解や葛藤を意識した授業を心がけるようにする。	児童達が学校の様子などを共有できていることは素晴らしいことだと思います。今後は児童達にも問題がある場合の解決策の協議なども検討してはいかがでしょうか。すごくいいことだと思うが、大人の集まりでもできていない。	3	
	◆(中期) 特別支援を要する児童への対応	◇特別支援コーディネーターを中心に学校(担任、学年主任、生活指導主任、養護教諭、SC、特支専門員、等)と保護者、外部機関(教育相談、医療、等)で適切な支援の共通理解を図る。 ◇月1回開催する「特別支援校内委員会兼いじめ防止対策委員会」で、該当児童への支援の確認と協議を行う。	○(自己評価)肯定的評価の割合	80	83	A	・サブティーチャー体験や理解教育などを通して、特別支援教育を学校全体に広める取り組みを行ったことで、児童や教員間で特別支援教育についての理解が深まった。 ・児童の実態に応じた小さな目標を立てて、達成のために指導をしているがそのめあてを保護者と共有しきれなかったり保護者の理解を得ることが難しかったりした。	・特別支援教室内の教員や担任との連携を密にし、効果的な支援は何かを考えて継続して行っていく。 ・担任一人に対応するのではなく、保護者対応も含め、学年、学校で取り組む市税を継続する。 ・外部機関との適切な連携について、より共通理解を図ることも検討していく。	特別支援教室の児童達にも個々人の目標なりをしっかりと共有して、自立できる教育が推進できれば素晴らしいことだと思います。	4	
	◆(中期) 思いやりの心をもち、明るい挨拶や会釈のできる子供の育成	◇「挨拶の励行」を推進する。(随時) ◇【徳育科】指導法、評価方法、指導資料や教材の開発を柱に、豊かな心の育成を図る。 ◇校外学習を徳育科の実践の場と捉え感謝の気持ちを言葉や態度で表せるようにする。	○(自己評価)児童の行動についての肯定的評価の割合 ○(児童アンケート)肯定的評価の割合 ○(保護者アンケート)肯定的評価の割合	80	88	A	・児童アンケートでは9割以上が肯定的意見、保護者アンケートでは7割以上が肯定的意見を回答しており、一定の成果がみられる。 ・こちらから挨拶しないと挨拶しない、知らない先生には挨拶しないといった課題がみられる児童もいる。	・どんな場面でも、場に応じた挨拶が全員出来るように徳育科の授業を中心に、挨拶の大切さを伝える。それと同時に、声が小さい子、挨拶が得意な子もその子なりの挨拶を認め、褒め、伸ばしていく姿勢を大切に。 ・児童会活動を通して、学校全体が挨拶する雰囲気を作っていくようにする。	挨拶の大切さが各家庭ではできていないのでしょうか。朝起きたときに親たちと「おはよう」などと声を掛け合っているのか気になります。声のトーンで子どもたちの感情がつかめると思っています。	3	
	◆(短期) 話を一度で聞き取る子供の育成	◇「教室の中で話しているのは一人」の「教室」を、全校朝会、児童集会、学年集会、等の場に拡大し、推進する。	○(自己評価)肯定的評価の割合	80	67	B	・児童アンケートの「友達や先生の話をもっと最後まで聞くことができる。」については、肯定的意見が8割を超えている。一方、教員の自己評価では否定的な意見が多く、児童と教員で捉え方に乖離がみられる。 ・指導はしているが、話を聞いていないまたは理解していない児童が少なくないと感じている教員も多い。	・「教室で話しているのは一人」「だまってうなずきながら聞く」等、聞くことにおける基礎を再度指導し、学校全体で徹底を図っていく。 ・話し方の工夫や短い指示の徹底など、教員の課題として考えられることについては改善を図る必要がある。	子どもたちと先生達の乖離が気になります。先生が聞いていよう理解をしていないと感じるのはどんな状況でしょうか。その場で子どもたちへ確認等は厳しいのでしょうか。	3	
健やかな体の育成	◆(短期) 「早寝、早起き、朝ご飯、(歯磨き)」の徹底	◇2学期、3学期に実施する健康チェックカードにより意識付けを図る。 ◇各学年の目標値を明確に示し、8割以上の定着を図る。	○生活リズムの集計結果 ○(児童アンケート)肯定的評価の割合 ○(保護者アンケート)肯定的評価の割合	80	74	B	・健康チェックカードで就寝時間が遅い児童や、朝食を食べていない児童を把握し、声掛けをしてきた。 ・児童アンケートでは、2割程度の児童が否定的意見を示していることから、基本的な生活習慣を身に付けることに課題がある児童が依然として多いことがうかがえる。	・健康チェックカードでの確認を継続していくとともに、家庭との連携を図りながら、基本的な生活習慣を身に付けられるように長期的に指導していく。 ・「生活リズムの集計結果」を校内全体で共有し、生活指導部中心に改善策を考えていく。	保護者の影響が大きい難しい課題だと思われる。朝食を食べていない児童がいることが気になります。家庭的な問題もあるかもしれないので、面談等の時話題に取り上げるべきだと思います。	3	
	◆(中期) 運動好きの児童の育成	◇ハッピーチューズデイを活用した外遊びの奨励、なわとび集会、体力向上月間、学級全員遊びの機会を充実させる。 ◇OJT会で体育指導を扱い、体育授業の充実を図る。	○新体力テストの結果 ○(児童アンケート)肯定的評価の割合	80	85	A	・体力づくりの取り組みをすることで子供達が外で身体を動かす機会を取り入れており、児童アンケートでも9割以上の児童が肯定的な意見を回答している。 ・学級単位で見ても、体育の授業でゲームを積極的に取り入れるなど、運動することが楽しいと思えるように工夫している学級やクラス遊びとして学級全員で校庭で遊ぶ様子が見られる。	・体育指導において、運動量の確保や指導の工夫をするとともに、体育行事の取り組みを継続して行うことで、更なる体力向上を図っていく。 ・外に出ていても運動量の少ない児童もいるので、体育の授業を通して遊びの楽しさを伝えたり、体力を向上させるように指導する。	他の人と力を合わせたり、競ったりして人と関わることを楽しみながら体を動かす試みが良いと思う。 体力づくりも大事な問題です。昨今の子どもの体力低下が問題になっています。将来の骨格作りの大事なときなのでさらなる推進に力を入れてください。	4	
防災意識の向上	◆(中期) 災害や犯罪に対応する取組	◇年間計画に基づいて、実際に近い想定で確実に実施する。(火災、地震、不審者侵入、竜巻、引き取り、集団下校、暴風雨、セーフティ教室、自転車教室、交通安全教室)	○(児童アンケート)肯定的評価の割合 ○(保護者アンケート)肯定的評価の割合	80	91	A	・避難訓練時や学級指導時に、災害への対応を指導している。避難訓練では、児童に実際に起きた時のことをイメージさせながら真剣に取り組ませている。 ・児童は災害については意識が高い一方で、犯罪へ意識が低く、自分達の登下校の仕方など「加害者になる」という意識は薄い。	・災害や犯罪に対しての意識を高めるために学級指導や避難訓練を継続していく。 ・児童や教員の意識は高いので、保護者にも避難訓練の取り組み等の様子を伝えたり、災害について家庭でも話し合う機会をもってもらったりする。	人を傷つけてしまうこと、人に迷惑をかけること等、人のせいにして相手の身になって思いやれるようになってほしい。 避難訓練などはマンネリにならないような工夫が必要だと思います。常に新鮮な気持ちで問題意識を持ち取り組めるようにお願いします。	3	
	◆(中期) 「思考力・判断力・表現力」の育成を目指す指し、問題解決型の学習過程を身に付けること	◇全教員が「八小授業スタンダード」に基づいた授業を1週間に5回以上行う。 ◇全教員が「一人一研究」に基づいた研究授業を年2回以上行う。	○(自己評価)授業後の肯定的評価の割合	80	70	B	・毎日の授業で、八小授業スタンダードに基づいた問題解決型の授業にとり組んでいる教員は多い。 ・一方で、児童の思考力・判断力・表現力の高まりについては課題と感じている教員が多い。児童アンケートでも否定的な意見が2割近くあり、更なる改善が必要である。	・教員の授業改善に対する意識は高いので、一人一研究で指摘されたことや校内研究で学んだことを実践するようにする、多くの先生の授業を見て学ぶなどそれぞれの先生方の指導経験などに合わせて自己研鑽に励む。 ・そのための時間を確保できるように、学校全体の教育活動を見直し、改善する。	あまり無理せず先生も楽しみながら活動すると良い。 毎日の授業などで時間をとられる中、自分自身の成長のための、子どもたちのための自己啓発大変だと思いますが、頑張ってください。	3	
教師としての質の向上	◆(中期) 児童の健全育成、安全対策を推進するために、地域・家庭との連携を深めること	◇教員それぞれが、年間6回程度PTA活動や地域行事へ参加する。 ◇学級からの配布物、電話、面談、家庭訪問などの手段を用いて、適宜保護者と連絡を取る。 ◇年1回接遇研修を実施し、教員の対応力の向上を図る。	○(自己評価)肯定的評価の割合 ○(保護者アンケート)肯定的評価の割合	80	83	A	・コロナ禍ということもあり、PTA活動や地域行事への参加はできていないことがほとんどである。 ・保護者としては、電話連絡、連絡帳、学級・学年だよりなどを通して情報共有を行えた。 ・コミュニティスクールとして、行事等学校の取り組みに対してたくさんの地域の方に御尽力いただいた。	・今後も電話連絡、連絡帳、学級・学年だよりなどで保護者の方と密に連絡を取っていく。また、フォームを活用したオンラインでのアンケートなども継続していく。 ・コロナ前のように活動や行事が増えれば、教員のPTA活動や地域行事への参加も増やしていく。	校内で先生方から来校者へ積極的に挨拶等の声掛けをするとう良い。防犯対策にもなる。 現在のコロナ禍という特殊な環境の中、PTA活動や地域行事もなく大変だと思います。こんな時だから保護者の方との連絡を密には大変に良い取り組みだと思います。	4	

平均値 3.2

【達成度】 = [達成値] / [目標値]
【評価】 A : 8割以上→目標達成とみなし新たな目標設定 B : 8割未満5割以上→8割を超えるまで継続実施 C : 5割未満→目標の見直し

達成度 4 : よくできている 3 : おおむねできている …肯定的
2 : あまりできていない 1 : できていない …否定的